

第 29 回 神奈川県がん診療連携協議会 議事録

日時： 令和 4 年 7 月 11 日(月) 17:00~18:15

場所： 管理・研究棟 5 階 講堂

形式： zoom システムによる、オンライン開催

出席者：古瀬総長、金森病院長、酒井血液腫瘍内科部長、太田緩和ケア内科部長
がん相談支援室得科長、医事・診療情報管理室小池主査

議題

1 開会（金森協議会長より）

協議会長より、開会の挨拶があった。

○古瀬総長よりご挨拶

神奈川県はがん患者さんの治療が多岐にわたり、高齢化も進んでいる為、大変な状況にあります。着実にがん医療は進歩しております。これからも緊密な連携を取り皆様と力を合わせて、がん診療を一步でも前に進めていければと思います。

○今年度から神奈川県がん診療連携指定病院に加わった厚木市立病院のご紹介があった。

2 神奈川県がん・疾病対策課連絡事項

1) 病室 Wi-Fi の設置について(病室 Wi-Fi 協議会 笠井信輔様より)

日本で病室 Wi-Fi 導入が進んでいない現状として、病院経営者の方々は収益が上がらない、患者さんが増えないだろうと考えていらっしゃる方が多いことが分かりました。しかし、ここ 2 年のコロナウイルスによる面会禁止が続いている状況などから、今現在では患者さんの病院選びの基準がどんどん変わっていて、Wi-Fi が使える病院に入院したいと考えている方が多くなっています。

最後に、病室 Wi-Fi があれば、患者さんの心持ちが変わる。QOL が変わる。QOL が上がれば、入院患者さんの病気改善につながることはご存じだと思います。ぜひとも、病室(無料)Wi-Fi 設置をご検討ください。

2) 男性用トイレのサンタリーボックス設置について(がん疾病対策課長 下山田様より)

患者さんからの声により、県では県施設の男性用トイレにサンタリーボックスを設置することになりましたので、がん患者さんが数多く訪れる各病院におかれましても設置のご検討をぜひお願いいたします。

3) ヘルプマークの普及・啓発ポスター掲示について(がん疾病対策課長 下山田様より)

内部障害等をお持ちの方々向けに配っているヘルプマークを、がん患者さんにも使っていただくことができますので、より一層周知する為各病院内に掲示していただくヘルプマーク利用啓発ポスターを送らせていただきます。

4) がん情報の発信について(がん疾病対策課 豊田様より)

今神奈川県とがんセンターで、がん情報の効果的な発信手法について検討している最

中ですが、県としては現在ニーズが高い情報として治療や病院選択の為の情報が求められておりますので、イメージとして現況報告データを集約・加工し、これらの病院診療実績あるいは専門とするがん種等を集約、一覧化にして県及びがんセンターのホームページで公表できないかと考えております。

今後として、次回第2回がん診療連携協議会開催時に具体的な内容をお示しできればと思っております。

3 第15回都道府県がん診療連携拠点病院連絡協議会の報告(金森協議会長より)

スライド資料を元に指定要件の見直しについて概要説明をした。

→都道府県がん診療連携協議会のあり方について

- 今後は病院や行政のみならず患者団体等も積極的に関与したらどうかという提案もある。
- 拠点病院の役割見直しとして、県内拠点病院の役割分担をもう少し整理し、その結果を共有しながら情報公開を行い、適切な医療提供体制を確保する。
- 現在、高度型に指定されている県内5病院(4大学病院と藤沢市民病院)は、今後発展的解消をする方向である。
- 拠点病院がメイン対象としている5大がん以外に、今後、前立腺がん・婦人科がん・血液がん等も疾患指定の対象となりうる。
- 感染症の蔓延や災害等における、BCPの策定の検討。
- 資格取得、質の向上という点において、各拠点病院が責任を持って推進する。
- これまで指定要件の中に抽象的な表現(望ましい・原則として等)が用いられていたが、今後は定義を明確化する。
- 要件が未充足な病院・施設に対しての勧告及び指定取消等の条件を指定要件に明記するべきとの意見がある。
- 今後は治験の数・相談支援センターの充実、データの分析強化、連携や人材育成、人員配置とBCP体制等が指定要件に加わる可能性がある。

4 各部会からの報告

1) がん薬物療法部会の報告(酒井部会長より)

第1回がん薬物療法部会(令和4年6月6日)議事録のスライド資料を元に説明した。

- AYA世代の妊孕性温存と県の取り組みであるKanaof-netに関して、金森協議会会長と得相談支援部会長より、説明があった。
- アンケート結果の共有
コロナウイルス感染状況と薬物療法の状況について、各病院に質問した。
- 神奈川県と製薬メーカーとの共催ないし主催として、今年度中に、がん薬物療法に係る研修会 or セミナーの企画が検討されており、当部会も関与する可能性がある。

2) がん相談支援部会の報告(得部会長より)

スライド資料を元に説明した。

○相談支援部会の組織について

- ・相談支援センターの実務者が部会構成員である。

今年度の副部会長は聖マリアンナ医科大学病院の杉浦貴子様にご引受けていただく。

- ・今年度、厚木市立病院が仲間に加わり全部で32施設となる。行政にも今年度から川崎市が加わり、神奈川県、横浜市、川崎市そしてこども医療センターの相談員が参加する部会運営となる。

○第1回がん相談支援部会(令和4年6月2日開催)について

会議議題は都道府県がん診療連携拠点病院の連絡協議会情報提供部会の報告とワーキンググループ活動の継続についての承認をいただく。

○神奈川県の妊孕性温存治療費助成の現状について、県から情報をいただき共有した。

○アンケート結果の共有

各施設のがん治療に伴う生殖医療の影響や生殖機能の温存に関する相談支援状況等について共有、意見交換をした。また実際に相談支援につながる仕組み等取り組みをしている施設から発表をしていただき情報共有をした。

○神奈川県、産業保健総合センターの社会保険労務士随時派遣について、担当者より説明いただいた。

○次回の研修会では、防災に関することを取りあげ、年度内3回の研修会を予定、地域相談支援フォーラム(4都県で開催)も11月12日開催予定であり、相談員の出席についてご配慮いただきたい。

○今後の部会取り組みとして、PDCAサイクルを実施しながら相談支援の質、格差解消、ネットワークの形成、就労支援やゲノム医療、AYA世代、高齢者のがん患者支援等の充実を目指していきます。

3) がん登録部会の報告(小池部会長より)

事前配布した資料を元に説明した。

○院内がん登録データ提出について

これまで全国集計と全国がん登録は、それぞれを国立がんセンターに提出していましたが、今年度からは国立がんセンターに提出すれば自動で振り分けていただけます。

○地域がん登録データの提出は変更ありませんので、今まで通り提出をお願いいたします。

○オプトアウトの状況項目の追加がされる予定である。

○今年度第1回目のがん登録部会と研修会を7月25日(月)に開催し、第2回目は令和5年2月頃を予定しております。

4) 緩和ケア部会の報告(太田部会長より)

スライド資料を元に説明した。

○神奈川県は参加施設が多く32施設もあるので、今までは地域別にグループ分けを行い、その中で相互訪問によるピアレビューをやってきた。

○今年度第1回目の緩和ケア部会は9月or10月頃にWeb形式で開催予定。

○当院もそうだが、多くの施設で緩和ケア実務担当者は基準を満たす最低限の人数で動かしているため、その人が欠けると現場が回らなくなる恐れがある。

このような、緩和ケアの実情を病院管理者の方々には理解をしていただきたい。

5) 地域連携クリティカルパス部会の報告(金森協議会長より)

○一程度の役割を果たしたということで発展的解消の為、今年の3月をもって、廃止になりました。

5 閉会(金森協議会長より)

協議会長より閉会の挨拶があり、次回開催は令和5年3月6日(月)を予定していると説明されたが、会議後に3月13日(月)に変更することになった。

○神奈川県歯科医師会(大持様より)

患者さん向けのリーフレットを作成中である。